

基本理念

草加市立病院は、市民のいのちと健康を守り、地域医療の中核を担うことを使命とします。

草加市立病院

— 第6号 —

平成22年8月5日発行

発行 草加市立病院

編集 経営管理課

〒340-8560 草加市草加二丁目21番1号

☎ 048 (946) 2200(代)

HP 草加市立病院 検索

草加の医療を考える

市立病院は二次医療機関

市立病院を受診する患者さんは年々増え続け、昨年度の外来延べ患者数は草加市の人口に匹敵する23万人を超えています。この状況が続けば入院治療を主体とした二次医療機関としての役割が十分に果たせなくなることが懸念されます。

今回は草加八潮医師会 松本眞彦会長と市立病院 高元俊彦病院長のお二人に、それぞれの立場と経験から、草加の一次医療を担う診療所や二次医療を担う市立病院の現状をお話いただき、草加の医療のあり方を考えてみました。



草加八潮医師会
松本眞彦 会長

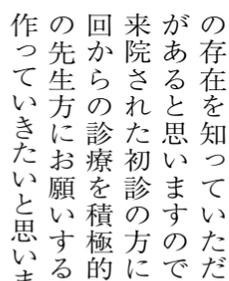
高元 市立病院は二次医療を担う医療機関として、地域の先生方から紹介された患者さんをはじめたくさんの重症患者さんを受け入れてきました。しかし、まだ多くの軽症の方も来院され大変混雑しています。特に若い方や普段健康であまり病院にかかったことがない方が、軽い症状でも市立病院を受診される傾向が強いです。そのほか引越してきたばかりで市立病院しか知らない、あるいは自分にとっての「かかりつけ医」がない、知らないというケースも多いです。



市立病院
高元俊彦 病院長

初診の患者さんが市立病院に集中

松本 私は地域で整形外科のクリニックを開業して22年になります。外傷や慢性の関節症などほとんどの患者さんを受け入れ手術も行ってきましたが、脊椎疾患など治療が困難な場合は市立病院にお願いしているという状況です。最近では地域の医師会の先生方も高い治療技術を有する方が増えてきていますが、やはりそれぞれの先生方の専門性にも限界がありますので、ここを市立病院にお願いしたいわけです。



市立病院
高元俊彦 病院長

松本 市立病院に行けば何でも診てくれるというようなイメージや期待があるのだと思います。それに日本では欧米とは異なり、フリーアクセスなのでどの病院でも受診できる仕組みになっています。しかし、草加市の医療ニーズ全てを市立病院だけで対応することは現実的に不可能で、地域に密着した医師会や一次医療機関の存在は欠かせないわけです。

医師の負担が増加

松本 初診で市立病院に行ってしまう人が多いわけですね。予約無しで受診すると2〜3時間待ちということも聞きますが、患者さんを診察する医師の負担はどうでしょうか？

高元 外来担当医師は現在ギリギリで回っている状態です。例えば小児科ですが、当院は他の市立病院に比べ恵まれていて、常勤医師8名と大学からの応援態勢で24時間の診療を行っています。それでも当直勤務の時は朝まで全く休みなしで働くことが日常的に繰り返されています。また、一時期減少した時間外受診者数は昨年度から再び増加しています。できれば時間外でも早い時間帯の受診をお願いしたいと思っていますが……

松本 我々医師会側については、「かかりつけ医」が医療の交通整理役として機能していくことが大切ですね。必要と思えば適切に専門医のいる病院に紹介し、検査や手術、入院ができるように調整する。また、病院から戻れば再び担当医として診療する。こうした一次医療機関が持つべき役割をしっかり果たしたいですね。ただ、医師会の先生が市立病院の先生に患者さんを紹介する場合、個人的なルートでお願いする場合がまだまだ多いと感じるので、今後は医師会と市立病院の組織的な連携がこれまでに必要でしょう。それと市立病院では女性医師も増えましたね。特に若い先生方は個人の生活も大切にされていますから、厳しい医療現場からお医者さんが逃げ出さないような環境づくりも病院長として考えてあげてください。

松本 市立病院に行けば何でも診てくれるというイメージや期待があるのだと思います。それに日本では欧米とは異なり、フリーアクセスなのでどの病院でも受診できる仕組みになっています。しかし、草加市の医療ニーズ全てを市立病院だけで対応することは現実的に不可能で、地域に密着した医師会や一次医療機関の存在は欠かせないわけです。

高元 市民の方にはまず一次医療を担う「かかりつけ医」の存在を知っていただく必要があると思いますので、直接来院された初診の方にも、次回からの診療を積極的に地域の先生方へお願いする流れを作っていくしたいと思います。

松本 それではお二人にこれから草加の医療の展望を語っていただきたいのですが。

高元 市立病院は2年後に脳血管病や心臓病をいつでも受け入れることのできる救命救急センターを開設します。埼玉東部地域の中でもっとも先進的な医療機関を目指したいと思っています。

松本 医師会は草加・八潮地域における地域医療を最終的に草加で完結するシステムをつくっていききたいと思っています。そのために市立病院というパートナーシップを構築していききたいですね。

ご注意ください!

お電話の掛け間違いが多くなっています。番号をよくお確かめのうえ、お掛けください。

草加市立病院
[電話] 048-946-2200(代表)



7月17日に病院エントランスホールで行われた演奏会

また、多くの患者さんを目にし、「市民の一人として医療センターが稼働する日を心待ちにしています」と期待を寄せます。

「この日のためにメンバーたちと練習を重ねてきました。金管の大きな音が心配でしたが、患者さんが最後まで聴き入ってくれて、うれしさがこみ上げてきました」と満足した表情。

「患者さんに何かできることはないか」。市立病院で入院患者さんを前に躍動感あふれる演奏を披露する「早稲田の杜金管合奏団」の内田憲一さん。

音楽の力で元気を与えたい

病院を支える人



内田憲一 さん